

衆議院議員選挙の投票に行こう！

選挙の争点は？

- ・ 分配
- ・ 多様性
- ・ コロナ対策

など

第49回衆議院議員選挙が、10月17日に公示され、10月31日に投開票となります。解散から17日後の投開票は戦後最短と言われています。短い期間の中ですが、しっかりと考えて投票に行くことが大切です。

「どうせ自分が投票しても政治は変わらない」という声が青年部層の中では多く聞こえてきます。私たちが持っている1票は、**労働者である私たちが意思表示のできる大切な1票**です。

身近な問題で考えれば「現業機関における柔軟な働き方」においては、勤務間インターバルなどの問題があるように、これまでの国会議員の方々との意見交換で「厳しい経営状況にあることは理解するが、働く労働者が犠牲になるコストダウンには疑問がある」などの意見も頂いています。私たち労働者に関わる法律を変えていく為には国会議員の力も必要です。そういった点においても、**私たちに無関係な選挙ではありません**。労働者である自分たちの視点から、政治に興味を持ち、面倒とは思わずに、自分たちの未来を変えていく1歩として投票に行きましょう！

誰に投票したらいいんだろう？

どうせ自分が投票したところで…。

自分の身近に、何か関係していることがあるのかな？

自分の1票が、自分の生活を守る1票です！

忘れずに、必ず投票に行こう！

